

市政記者各位

令和8年1月16日

福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス 第3期アーティスト滞在制作開始！

国内外のアーティストたちが福岡で滞在制作をするレジデンス事業。2025年度第3期（1～3月）ではArtist Cafe Fukuoka（中央区域内）を拠点に、2名のアーティストがリサーチや市民との美術交流を行います。また、3月下旬には第2期のアーティスト2名と合わせた成果展も開催予定です！つきましては、当事業について取材、広報のご協力をお願いいたします。

2026年1月31日（土）「キックオフ・トーク」開催！

これまでの活動や福岡でのリサーチ予定について、アーティスト自らが紹介します。

時 間：14:00～15:30

会 場：Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース（福岡市中央区域内2-5）

※参加費無料、申し込み不要、和英逐次通訳

小田原ルーカス（ブラジル） 滞在期間：1月13日～3月26日



『Estranged from Sight』
2024年



日系ブラジル人という視点から、福岡の土地や人々のアイデンティティを見つめる

1989年生まれ、サンパウロ在住。釉薬を使った絵画やコラージュなど様々な手法を用い多様な「自己」の在り様を表現するアーティスト。福岡からブラジルへ渡った移民のルーツを持ち、福岡では、日本の門や和紙について調査し、作品を制作します。2022年『Berlin Art Prize』（ドイツ）を受賞。

アルピタ・アカンダ（インド） 滞在期間：1月13日～3月25日



『Dendritic Data Series』2024年
Photo by Hampi Art Labs



川を通して福岡の歴史や伝統について探求する

1992年生まれ、西ベンガル州シャンティニケータン在住。紙を織る手法やパフォーマンスで、記憶と身体をテーマに制作してきたアーティスト。福岡では、九州の川や自然、織物などの伝統工芸に着目した作品を制作します。『The 2025 Sovereign Asian Art Prize』（香港）グランプリを受賞。

2026年3月下旬～4月上旬には、 福岡で滞在制作した作品を発表！

※第2期アーティスト、チェン・イエンチー（台湾）と進藤冬華（北海道）も参加します。



福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

【お問い合わせ】

学芸課 交流・教育係 担当：中尾、栗原、藤井

TEL: 092-263-1103 FAX: 092-263-1105

e-mail: i_fujii@faam.ajibi.jp

